

水を使わないを特徴とする「バイオトイレ」

サービス概要

- ①バイオトイレBio-Lux
水を使わない事を特徴とする新型トイレです。
新型トイレは水の代わりに普通のオガクズを使います。水不足や災害時の断水時にもトイレは普通に使うことができます。観光地や山岳、公園や農家のトイレとしてバイオトイレを設置する事で尿尿を循環型処理が出来ます。
- ②駆除シカの分解処理装置
シカやイノシシの死体を本装置にそのまま投入する事で約2週間後には姿かたちは太い骨だけを残し、オガクズ中で消滅します。肥料分だけがオガクズの空隙に付着して残っていますので、使用後のオガクズをシカやイノシシが生息していた地域に散布し、肥料分を土壌に戻す事で循環型の処理方法が確立します。
- ③ホタテ貝殻の粉碎装置
貝殻約15Kgを5分間で粉状態にまで粉碎する比較的小型の装置。

普及・啓発	○
導入	
事業開発	
シーズ型支援	○



期待できるメリット

河川敷の公園や公衆トイレ、学校のグラウンドや観光地のトイレ、農家や山岳トイレ等などに設置する事で下水道設備が無くても生活環境を向上させることができます。また、災害時の避難場所である公園のトイレをバイオトイレにする事で「使用しながら備蓄する方法」で断水時のトイレ対策になります。ホタテ貝殻の粉碎装置は、牡蠣の貝殻やシジミの貝殻も粉状に粉碎できます。

解決したいこと・目指す姿

水洗トイレの持つ課題の1つに「下水道設備の維持管理問題」があります。各自治体は人口減による水道料金の不足でメンテナンス費用の捻出に困っています。下水道整備地域を住民が多い地域だけにする案も検討されていますが、地域外になった所にバイオトイレを設置できればと思います。

代表者	橋井 敏弘	担当者	橋井 敏弘
電 話	0166-39-7611		
MAIL	seiwa@seiwa-denko.co.jp		
関連URL	https://www.seiwa-denko.co.jp		
所在地	078-8271 北海道旭川市工業団地1条1丁目3番2号		
概要	1974年に設立、社員10人の研究開発型の会社で今年50年目を迎えています。電器製品の卸売業とバイオ関連の製造販売業を営んでいます。製造部門はアウトソーシングで工場を持たないメーカーです。		

ロシアによるウクライナ侵攻や地球規模の異常気象、世界人口数が80億人を突破する現況があります。これらの現況は地球環境を悪化させ始めています。特に、世界人口が増え続けるとトイレ問題が深刻になります。人間のし尿を処理する為の水洗トイレの普及拡大は難しくなります。人間の出す膨大な量の尿尿を適切に処理する方法として、下水道設備を必要とする水洗トイレ以外の新型トイレの開発が望まれる中、弊社の果たす役割は大きいと感じています。弊社製品のバイオトイレBio-Luxを通じて、SDGsに貢献していきます。

